

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

130号
2021年3月16日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DCC会館内
Tel 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

全国で署名集めよう

動労千葉を先頭に各地で春闘スト



『入門 国鉄闘争』発行 1047闘争の意義と現局面

国鉄闘争全国運動は2月に小冊子『入門 国鉄闘争』勝利まであと一歩！』を発行しました。英サッチャー、米レーガンに象徴される世界の動きと軌を一にして始まった日本における新自由主義攻撃の天王山として強行された国鉄分割・民営化問題についてあらためて焦点を合わせ、世界的にみても例のない30数年に渡る反自由主義闘争として国鉄1047名解雇撤回闘争が闘われてきた意義を明らかにしていきます。

また、国労に国鉄改革法の承



認を迫った4党合意や2010年の政治和解など、執拗に繰り返された闘争破壊、和解策動を打ち破って、ついに「国鉄改革の真実」を暴き出し、不採用基

◎解雇撤回・団交開催行政訴訟

4月16日11時 東京地裁527法廷

動労千葉が48時間スト突入

館山市内で住民と共に総決起集会

動労千葉は3月12、14日、木更津運輸区・鴨川運輸区・佐倉運輸区・千葉運輸区に勤務する本線運転士が、ワンマン運転拡大の中止とジョブローテーションの撤廃を求めてストライキを決定した。

13日のダイヤ改で内房線、外房線、鹿島線にワンマン運転が拡大される。2月のジョブローテーションでは多くの運転士・車掌が希望と関係なく駅に配転された。無理に人を減らす一方、管理者の乗務、運転士・車掌の混み運用が拡大している。

また、昨年の改悪乗務員勤務制度と今回のワンマン運転拡大による大幅な行路見直しにより

準の策定が不当労働行為であることを認めさせた2015年の最高裁決定に基づき、JR東日本に対して解雇撤回採用を求める労働委員会―東京地裁闘争

が闘われている現局面を「勝利まであと一歩！」として、長年にわたり国鉄闘争に心を寄せてきた全国の人びとに再度の支援と連帯を訴える内容となっています。

現在の闘いの舞台となっている東京地裁に対して2月、署名3736筆を提出しました。1047名闘争が継続し、な

東京地裁宛て
行政訴訟署名
4020筆
(21年3月15日)

関西で国鉄集会を開催

階級的労働運動の決意新たに

関西国鉄集会が2月16日、国鉄闘争全国運動・関西の主催で行われ、約100人が参加しました。基調を動労西日本の山田和広書記長が提起。動労西日本は昨年3月、34歳の管内太朗組員を過労死でJR西日本メンテックに奪われました。大阪府労働委員会に不当労働行為を申し立

てるとともに、あらためて階級的労働運動路線で闘う決意を掲げました。そして、2月25日の春闘スト、JR高槻駅での過労死弾劾街宣とJR西日本本社前行動、4月24日の尼崎事故弾劾闘争を宣言しました。

の皆さんにお世話になりながら闘ってきた」とあいさつ。

関西で国鉄集会を開催

階級的労働運動の決意新たに

関委員長は、動労千葉が48時間のストに突入したことを宣言。地域の闘いと団結して地方切り捨てのJRと対決する出発点にするとして、ワンマン運転拡大やジョブローテーションと

大阪市職員労働組合の赤田由行さん、日教組奈良市の有田委員長、関西合同労組の黒瀬博匡委員長、八尾北医療センター労働組合の藤木好枝委員長の発言に続き、高槻医療福祉労組は「医療労働者の使い捨てを許さない。声をあげたい」としてストライキ権を77・1%の賛成で確立したことを報告しました。全

地方切り捨てに等しいワンマン化に対し、署名など力強い運動が展開されている館山市内で3月13日、スト貫徹！動労千葉総決起集会が開催された。動労千葉の組合員やOBだけでなく、地元在住民や支援が多数集まり、約1300人の盛況なスト集会となった。

学連は「労働者が労働組合の復権をかけて闘うように学生は全学自治会の復権をかけて闘う」と宣言した。港合同の木下浩平執行委員がまとめを行い、団結がなばろう三唱をしました。



動労西日本 一時帰休・ダイ改合理化反対 五日市駅を拠点にスト

動労西日本は2月25日、「一時帰休反対! 3・13ダイヤ改悪 大合理化反対! ロール線廃止許すな!」を掲げ、山陽本線五日市駅(広島市)を拠点にストライキを闘った。



大江委員長が12時30分から16時45分までの時限ストライキ、岡崎副委員長が一時帰休を打ち破りストライキに決起した。山田書記長の司会でストライキ突入集会を開始。大江委員長と岡崎副委員長は、国鉄分割・民営化以来のJR西日本の大合理化攻撃を弾劾し、資本主義を倒さなくては労働者の未来はない、ストライキで共に闘おうと呼びかけた。



動労千葉と支援する会は連日、ジョブローテーション反対の運輸区前宣伝行動を行っている。佐倉運輸区・津田沼運輸区・千葉運輸区で支部長らがマイクを日切り、職場の青年労働者に向かって「会社は労働者の団結を恐れている。皆が闘う労働組合の旗のもとに結集し、団結して闘うならばジョブローテーションは粉砕できる」と訴えた。

ジョブローテーション反対! 運輸区前で宣伝活動

向「から「転籍」という形で「理解雇」にされかねない。移管された業務は低賃金の非正規職、最低限の人員でやらされるのだ。

JR西日本の一時帰休はJR連合・西労組一労使一体の御用労組との協定という形で進められている。JR西日本の現場では、契約社員制度の廃止や「改札遠隔システム」の導入(改札無人化)も進めている。

JR西日本は、現場労働者の生活・命をなだと思っているのか。口では「緊急事態」を語りながら、感染対策より合理化を優先するなど絶対に許されるものではない。会社は、「大赤字だ! 会社が存続できない」と現場を黙らせ、「700億円のコスト削減を強行している。コロナ禍さえ「千載一遇のチャンス」として、攻撃を行おうとしているのだ。

JR西日本は、3月ダイヤ改・一時帰休、終電繰り上げなど、すべての合理化をただちに中止せよ! 動労西日本は、3月ダイヤ改・大合理化に反対して、21春闘をあらゆる手段で闘う。

「階級的なものをどう取り戻すか」 労働運動変革へ2・14国鉄集会での問題提起

2月14日に東京・四谷区民ホールで開催した国鉄集会は、1047名解雇撤回とともに「労働運動の変革」という大きなテーマを掲げました。「労働運動の変革」とは、総じて言えば「階級的なものをどう取り戻すか」ということであると思えます。

国鉄分割・民営化以来、日本の労働運動は後退に次ぐ後退を強いられてきました。これに対し国鉄闘争は、その流れに立ちまわり、階級的労働運動を守り抜く拠点として存在し続けてきました。

国鉄闘争を軸に形成された関西生コン支部、全国金属機械港合同、動労千葉の3労組共闘は、労組交流センター総会で3労組から共同代表を選出し、労働運動の再生へいよいよ本格的に乗り出そうとしています。新自由主義が社会を破壊し、その現実がコロナによって赤裸々に暴かれた今、労働運動の再生は喫緊の課題です。



この中で2・14国鉄集会は、階級的労働運動の復権に向けて何が必要なのかを、あらためて自らに問い、社会全体に明らかにするものとして開かれました。「勝利まであと一歩」ところまで来た1047名解雇撤回の闘いも、労働運動全体の再生と結びつけてこそ、「あと一歩」を踏破することができないではないでしょうか。

2・14集会での各氏の発言を通して示された問題意識、検討課題は何だったのかを、事務局で議論したことを以下に整理してみました。

- 1 新自由主義** 新自由主義によって社会にもたらされた問題に労働運動はほとんど対応できていない。地域・社会の課題を自らの課題として取り上げることによって労働運動の再生の展望がある。
- 2 労働運動の再生** 動労千葉のワンマン運動導入反対の闘いは、地域の視点と労働運動の視点を突き合わせて進んでいる。船橋二和病院労組のストライキは、
- 3 企業別労働組合運動の機能が極小化してしまったのは、労働条件が個人処遇になり、一人ひとりの労働者の受難が自己責任とされて、労働組合のかかわる事項ではないとされてきたからだ。労働組合再生のためには、「個人の受難」への労働者の連帯的関与が必要だ。(熊沢誠さん)**
- 4 労働運動でも政治運動でも、非暴力だが直接的行動を模索すべきだ。労働運動ならストライキ。正義なくして平穏なし。秩序紊乱(ひんらん)を含み込んだ行動が人びとの心を動かす。(熊沢誠さん)**
- 5 ストをやるとうと提起すればどの職場でも躊躇が生まれる。こう言えはいというハウツウはない。仕方がないというあきらめに対し、「仕方がないことはない、立ち上がる以外はない」と本気になって訴える以外はない。ストライキをやった組合員は変わった。しかしスト後の反動との闘いはやはり大変。どこまでも労働者を信じ闘う。(二和病院労組・飯田江美委員長)**
- 6 業種別・職種別なまとまりで小さくてもまず労組を立ち上げることが必要。仮につぶされても火種を残すことに意味がある。労組を立ち上げたら、その業種の労働者全体を組織する観点でアピールを発売する。至る所でこうした組織をつくるため全員がオルガナイザーに。(木下武勇さん)**
- 7 階級的労働運動を取り戻すためには国鉄闘争が軸になる。資本・国家権力の側もJRで労働組合をつぶすことに戦略的意図を置いている。動労千葉の組合員一人ひとりが自ら決断し首をかけて分割・民営化反対のストライキを闘った経験、非正規職を生み出す新自由主義の中心的攻撃であった外注化と闘い、それを破産に追い込んでいくこと、地域と結んでのロール線切り捨て反対の闘いなどは、この時代の労働運動を構想する上で重大な教訓になります。**
- 8 国鉄闘争は現在、分割・民営化以来の大合理化をめぐる決戦に入った。国鉄闘争自身を再構築する構えで分割・民営化に決着をつける闘いに入る。JR-CISを貫く本格的組織拡大へ闘う。(動労千葉・関道利委員長、川崎昌浩書記長、田中前委員長、山田幕張支部長、北村執行委員、関執行委員)**
- 9 国鉄闘争全国運動自身の直接的課題として、1047名解雇撤回の実現へ新パンフを活用し署名運動を拡大しよう。1047名闘争は、国家的不当労働行為の真実を暴き、「勝利まであと一歩」まで来た。署名拡大の展望はある。4・9でいったん「敵対的」関係になった労組も、共謀罪や関生弾圧への危機感から署名に取り組んでくれた。署名拡大の物質的基礎になるのは動労千葉物販。物販運動の蓄積に自信を持つ。(動労千葉顧問弁護団・葉山兵夫弁護士、金元重さん、新潟・阿部啓輔さん)**

署名運動